

040 ベトサダの池で病人をいやす(2)

ヨハネによる福音書 5 : 19~47

ヨハネによる福音書 5 : 19~30 御子の權威

19 そこで、イエスは彼らに言われた。「はっきり言うておく。子 (the Son→イエス) は、父のなさることを見なければ、自分からは何事もできない。父がなさることはなんでも、子もそのとおりにする。

→イエスと父は、行動において一体である。

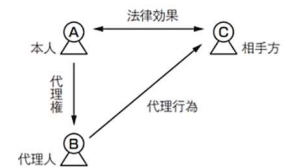
20 父は子を愛して、御自分のなさることをすべて子に示されるからである。また、これらのことよりも大きな業 (→greater works) を子にお示しになって、あなたたちが驚くことになる。

→イエスと父は、愛において一体である。

21 すなわち、父が死者を復活させて (永遠の) 命をお与えになるように、(父の代理人である) 子も、与えたいと思う者に命を与える。22 また、父はだれをも裁かず、裁きは一切子に任せておられる。

→イエスと父は、權威において一体である (ただし、異なる位格を持っている)。

→代理人：自分以外の利益のために、何らかの行為を代わって行う人。



23 すべての人が、父を敬うように、子をも敬うようになるためである。

子を敬わない者は、子をお遣わしになった父をも敬わない。

24 はっきり言うておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになった方を信じる者は、永遠の命を得、また、裁かれることなく、死から命へと移っている。

25 はっきり言うておく。死んだ (信仰深い) 者が神の子の声を聞く時が来る。今やその時である。その声を聞いた者は生きる。

→ I コリ 15 : 12~57、I テサ 4 : 13~18

26 父は、御自身の内に命を持っておられるように、子にも自分の内に命を持つようにしてくださったからである。

27 また、裁きを行う権能を子にお与えになった。子は人の子だからである。

→人の子 (ダニエル 7 : 13、10 : 16) =メシア王国を統治するメシアの呼称=イエス=天と地の仲介者

28 驚いてはならない。時が来ると、墓の中にいる者は皆、人の子の声を聞き、

29 善を行った者は復活して命を受けるために、悪を行った者は復活して裁きを受けるために出て来るのだ。

30 わたしは自分では何事もできない。ただ、父から聞くままに裁く。わたしの裁きは正しい。わたしは自分の意志ではなく、わたしをお遣わしになった方の御心を行おうとするからである。」

ヨハネによる福音書 5 : 31~47 イエスについての証し

31 「もし、わたしが自分自身について証しをするなら、その証しは真実ではない。

32 わたしについて証しをなさる方は別におられる。そして、その方がわたしについてなさる証しは真実であることを、わたしは知っている。

33 あなたたちは (バプテスマの) ヨハネのもとへ人を送ったが、彼は真理について証しをした。

34 わたしは、人間による証しは受けない。しかし、あなたたちが救われるために、これらのことを言うておく。

35 ヨハネは、燃えて輝くともし火であった。あなたたちは、しばらくの間その光のもとで喜び楽しもうとした。

36 しかし、わたしにはヨハネの証しにまさる証しがある。父がわたしに成し遂げるようにお与えになった業 (→the works)、つまり、わたしが行っている業 (→the very works) そのものが、父がわたしをお遣わしになったことを証ししている。

37 また、わたしをお遣わしになった父が、わたしについて証しをしてくださる。あなたたちは、まだ父のお声を聞いたこともなければ、お姿を見たこともない。

38 また、あなたたちは、自分の内に父のお言葉をとどめていない。父がお遣わしになった者を、あなたたちは信じないからである。

39 あなたたちは聖書 (→旧約聖書と呼んでいるユダヤ教聖書) の中に永遠の命があると考えて、聖書を研究している。ところが、聖書はわたしについて証しをするものだ。

40 それなのに、あなたたちは、命を得るためにわたしのところへ来ようとしなない。

41 わたしは、人からの誉れは受けない。

42 しかし、あなたたちの内には神への愛がないことを、わたしは知っている。

43 わたしは父の名によって来たのに、あなたたちはわたしを受け入れない。もし、ほかの人が自分の名によって来れば、あなたたちは受け入れる。

44 互いに相手からの誉れは受けるのに、唯一の神からの誉れは求めようとしなないあなたたちには、どうして信じることができようか。

45 わたしが父にあなたたちを訴えるなどと、考えてはならない。あなたたちを訴えるのは、あなたたちが頼りにしているモーセなのだ。

46 あなたたちは、モーセを信じたのであれば、わたしをも信じたはずだ。モーセは、わたしについて書いているからである。

47 しかし、モーセの書いたことを信じないのであれば、どうしてわたしが語ることを信じることができようか。」

→旧約聖書 (ユダヤ教聖書) で重要な位置づけをされる律法、すなわちモーセ五書 (創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記) のことをイエスは言った。モーセは偉大な指導者で、エジプトでの奴隷の状態からイスラエルの民を導き出し、人々が生きていく上で拠り所となる法を神から授かった。イエスが「モーセがわたしについて書いた」と言うのは、伝統的なモーセ五書を指している。イエスは律法を破棄するのではなく、どうすれば人生の恵みと真理で満たすことができるかを示した。